

課題発表（プレゼンテーション）

【課題】

1. 課題「カーボンニュートラルな住まい方」

地球温暖化により世界の平均気温は 100 年ほどの間に 0.73°C 上昇したと言われています。気候変動は、大雨、強風などによって発生する気象災害だけではなく、生態系や食料危機など様々な分野に影響を及ぼしています。1995 年より毎年、地球温暖化問題について世界各国が協議する国連気候変動枠組条約締約国会議（通称：COP）が開催されています。2015 年 12 月にフランス（パリ）で開催された会議では、世界全体の温室効果ガス排出量削減のために、21 世紀後半までに人間活動による温室効果ガス（二酸化炭素 CO_2 を含む多種のガスを言います。）の排出量を実質的にゼロにする提案がなされ採択されました。

これを受けて 2020 年 10 月、日本政府は 2050 年までに温室効果ガスの排出量を全体としてゼロにする、カーボンニュートラルを目指すことを宣言しました。カーボンニュートラル実現のために、あらゆる産業分野で温室効果ガスの排出量を削減する取り組みが推進されています。その一環として建設分野では家庭においても消費エネルギーをゼロにする ZEH※1 の普及が促進されています。2020 年度の家庭部門において主な温室効果ガスである二酸化炭素（以下、 CO_2 ）の排出量は全体の約 16%を占めており、図 1 に示すように 1 年間の世帯当たりの CO_2 排出量は約 3,900 [kg- CO_2] となっています。私たちは様々な生活場面において冷暖房設備、給湯設備、厨房機器、照明設備、家電機器、自家用乗用車を使用することで CO_2 を排出しています。これらをふまえて、課題①と課題②に取り組んでください。

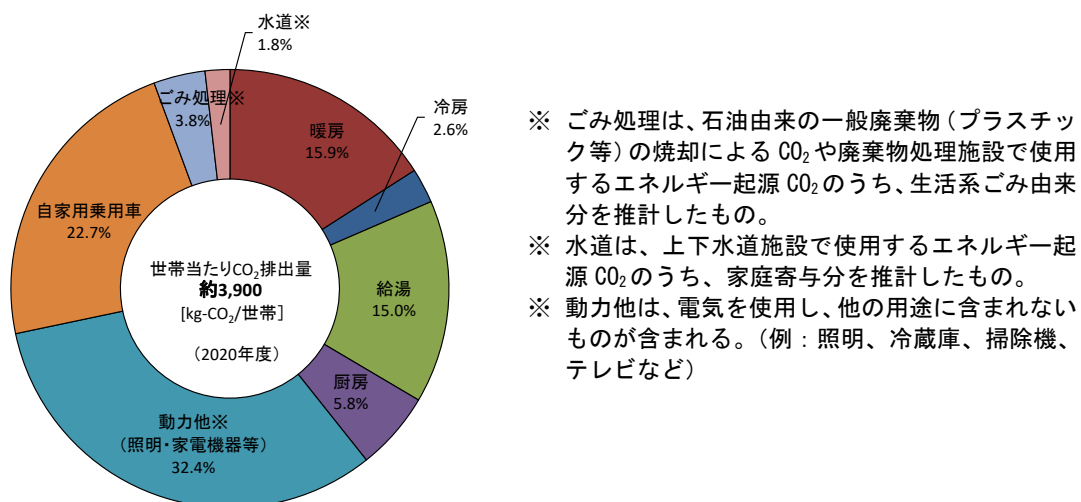


図 1 家庭からの CO_2 排出量（用途別）※2

※1. ZEH：net Zero Energy House（ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス）の略語で、家庭で使用するエネルギーと太陽光発電などで創るエネルギーをバランスして、1 年間で消費するエネルギー量を実質的にゼロ以下にする住宅

※2. 参考：国立研究開発法人国立環境研究所 温室効果ガスインベントリ調査報告書

<https://www.nies.go.jp/gio/aboutghg/>

課題①

図 1 は家庭における CO₂ 排出量の平均的な割合を示したものです。あなたの自宅での日々の生活から、設備機器の使用頻度や使用時間などを調査して CO₂ 排出の要因を考察してください。そして、この図に示す用途における CO₂ 排出量を生活行動の工夫、現在の住まいの仕組み、既に設置されている設備の活用方法などにより削減する方法について考えを述べてください。

課題②

2050 年のカーボンニュートラル実現に向けて、今後、私たちの住まいや生活環境は大きく変化すると考えられます。課題①で考えたことを踏まえ、その変化の中でより豊かで快適な環境を目指し、カーボンニュートラルを実現するための新しい生活空間や住まいのあり方をスケッチや文章で表現してください。

2. 評価方法

課題に対する理解、適切な情報収集、表現方法の独創性、記述の客観性と正確さ、取り組みの熱意などについて、プレゼンテーションの内容も含め、総合的に評価を行います。

【諸注意】

- ・提出物（課題の回答）は、課題①、課題②それぞれ A3 サイズ用紙横使い 1 枚にまとめてください。
- ・参考にした文献、Web サイト等は、提出物に明記して下さい。
- ・提出物は、図表や写真などを用いてわかりやすく、各自が工夫して自由に表現してください。
なお、スケッチは必ず着彩してください。
- ・課題①と課題②の提出物について、出願時に他の書類と併せてそれぞれ 1 部ずつ提出してください。提出物は当日のプレゼンテーション時に使用します。
なお、提出前にコピーをとり、手元に保管してください。提出する提出物の裏面には、全てに氏名を記載してください。
- ・提出した提出物は返却いたしません。

【当日の内容（合計：20 分）】

（1）プレゼンテーション（10 分）

課題発表：5 分

口頭試問：5 分程度

（2）面接（10 分）

志望動機、自己アピールなど：5 分

口頭試問：5 分程度

※ 試験当日、プレゼンテーションと面接は連続して行われます。

【プレゼンテーションの方式】

事前に提出した A3 サイズの提出物を黒板に掲示して、その前でプレゼンテーションを行っていただきます。プロジェクターなどの機器を使うことはできません。